

分野	教育	施策	文化・スポーツ	
分野計画名称	文化振興計画		行政経営戦略 参照ページ	P91

施策の展開（大項目）	1 地域資源を活かし、文化に親しむ取組の推進					
KPI (指標)	「直近1年間で文化・芸術の鑑賞や活動をした」と回答した市民の割合					
	推移の方向性	基準値	令和2年度 結果	令和3年度 結果	令和4年度 結果	目標値 (令和7年度)
	増加	22.7%(令和2年度)	22.7%	34.7%	27.5%	25.0%
KPI (指標)	市・指定管理者主催の文化イベントの延べ参加者数					
	推移の方向性	基準値	令和2年度 結果	令和3年度 結果	令和4年度 結果	目標値 (令和7年度)
	増加	19,081人	3,891人	5,700人	13,052人	22,000人

中項目	1 文化に触れる機会づくり		分野計画参照ページ	P22
関連する主な事業	令和4年度 の取組実績		分析・考察	
文化関係団体育成事業 文化スポーツ課	<ul style="list-style-type: none"> 各団体主催のイベントを実施を支援し、参加者数は以下の通りであった。 ■4月に文化ホールでアンサンブルフェスティバルを実施し、14組が出演した。来場者数は300人であった。 ■6月にコミュニティプラザで文化連盟祭を実施し、198人が出場・出展した。来場者数は720人であった。 ■3月に文化ホールで市民合唱祭を実施し、16組が出演した。来場者数は130人であった。 ※美術協会展及びわがままコンサートは中止。		<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度はコロナにより中止となったアンサンブルフェスティバル、文化連盟祭、市民合唱祭について、令和4年度は対策をしながら開催することができた。 集客が少ない事業については、開催の周知の促進が必要である。 	
音楽祭開催事業 文化スポーツ課	<ul style="list-style-type: none"> 市民文化ホールで摂津音楽祭（リトルカメラリアコンクール）を開催し、予選に参加した64組のうち、21組が本選に参加した。来場者は延べ373人であった。また、本選の審査待ち時間にチャレンジコンサートを実施し、11人が参加した。 リトルカメラリアミニコンサートを小学校9校・1園（前年度比+3校・+1園）で実施し、延べ25人（前年度比+11人）が出演した。来場者数は延べ1,604人（前年度比+801人）であった。 安威川公民館でフレッシュコンサートを実施し、8人が出演した。来場者数は150人であった。 		<ul style="list-style-type: none"> 摂津音楽祭（リトルカメラリアコンクール）は、30年以上開催してきているが、費用が高額であることや出演者・来場者が少なくなってきたことを鑑み、開催にかかる費用の節約や集客につながる内容の工夫・見直しをする必要がある。 	
文化ホール管理事業 文化スポーツ課	<ul style="list-style-type: none"> 三遊亭好楽・桂文珍東西会(260人)、朗読劇「遠き夏の日」(304人)、川井郁子ヴァイオリンコンサート(252人)、声優朗読劇フォアレゼン(300人)、藤巻亮太Acoustic Live Tour 2022(386人)、秋川雅史コンサート(386人)、リトルカメラリア推薦コンサート(255人)、オペラ「魔笛」(401人)の8つのイベントを開催し、合計で2,544人の入場があった。 		<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、トレンドにアンテナを張り、魅力的なイベントを開催することで、多くの市民が文化に触れられる機会を提供していく。 入場料について、これまでは全体的に安めな設定になっていたが、他市等で開催の事業を参考に、内容に応じてきめ細かく検討し、収益につなげる必要がある。 	

ちびっこ劇団育成事業 文化スポーツ課	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症等の影響により、ちびっこ劇団「ひなどり」の練習・発表会（文化ホール事業としての発表会及び市民演劇祭への出演）は中止となった。 ・例年実施していた、新1年生への加入案内チラシ配布も中止。 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度に新規加入の呼びかけを中止したため、令和5年度は、配布対象を拡大し、新1年生と新2年生へ加入案内チラシを配布して参加を呼び掛けた。 ・今後も、加入状況により、適宜新規募集対象を検討していく。
公民館講座開催事業 生涯学習課	<ul style="list-style-type: none"> ・市立公民館において、文化・芸術をテーマにした講座（コンサートや楽器体験、文学講座等）を延べ58回（前年度比+23回）開催した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コンサート鑑賞や楽器を体験する等、音楽関連の講座の参加者数が多い傾向にある。 ・「楽器を使った講座」では、楽器を所有されていない方でも、貸し出しをするとの案内をしたことで、参加者数が募集定員よりも多くなった。 ・引き続き、集客につながる内容の工夫や見直しを行い、文化に触れる機会を提供する講座を実施する。
こども展覧会開催事業 文化スポーツ課	<ul style="list-style-type: none"> ・10月20日～23日の間に、市内大学の保育学科の学生と共同でこども展覧会を開催し、体験教室では、数年続いていたスノードームづくりではなく、サコッシュづくりを実施した。 ・1,090点（前年度比-70点）の展覧があり、1,489人（前年度比+123人）の来場者があった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度から出展数が減少したのに対し、来場者数は増加した要因として、今年度は市美展と合同開催したこと、また体験教室をサコッシュづくりに変更したことで市民の関心を引くことができたと考ええる。 ・出展数を増加させるため、開催案内の周知方法について検討する。
演劇祭開催事業 文化スポーツ課	<ul style="list-style-type: none"> ・市民文化ホールで市民演劇祭を開催し、4団体・92人が出場した。（前年度比-1団体・-19人） ・来場者は300人であった。（前年度比-7人） 	<ul style="list-style-type: none"> ・出演者にとっては、普段の文化活動の発表の場となり、観客にとっては、気軽に演劇文化に触れる機会となった。 ・出演団体の数が減っており、演劇協会に所属の団体のみであったため、新たな出演団体を呼び込むための検討が必要。

中項目	2 高齢者、障害者、子育て世代等に対する機会の拡充	分野計画参照ページ	P23
関連する主な事業	令和4年度 の取組実績	分析・考察	
文化ホール管理事業 文化スポーツ課	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て世代にも安心して利用いただくため、階段からの未就学児の転落防止策として、手摺の格子の隙間を狭くする修繕を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、利用者アンケート等を踏まえ、ソフト・ハードの両面で、誰もが利用しやすいよう施設を運営していく必要がある。 	
市立ふれあいの里運営事業 障害福祉課	<ul style="list-style-type: none"> ・身体障害者・老人福祉センターで、体操やカラオケなどの教室及び陶芸や書道、革工芸などの同好会活動を実施した。 ■延べ利用者数：主催事業 719人（前年度比+126人） 同好会 3,357人（前年度比+857人） 個人・団体 832人（前年度比+184人） ・身体障害者・老人福祉センターでは館内照明のLED化工事を実施し、活動環境を整備した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・直近2年は新型コロナウイルス感染症等の影響により、身体障害者・老人福祉センターの延べ利用者数は減少していたが、感染対策の上、実施できる事業については再開したことから、全体の利用延べ人数は昨年度よりも増加している。 	
交通バリアフリー整備事業 道路交通課	<ul style="list-style-type: none"> ・段差解消必要箇所1,034箇所のうち、9箇所の歩道段差切下げ工事を実施した。※進捗率：79.7%（前年度比+0.9%） ・通学路の安全対策必要箇所32箇所（令和3年度～令和6年度）のうち、15箇所の工事を実施した。※進捗率：81.2%（前年度比+46.9%） ・車両の速度抑制等の対策として、ハンパ設置工事を26箇所のうち、2箇所実施した。※進捗率：7.7% 	<ul style="list-style-type: none"> ・バリアフリー整備と未就学児の移動経路等の安全対策工事を着実に進めていく。 ・通学路等交通安全プログラムに基づき、計画的に整備を進めていく。 ・車両の速度抑制等の対策として、令和3年度から令和10年度において地元合意のもと計画的に整備を進めていく。 	

<p>公民館管理事業 生涯学習課</p>	<p>・新鳥飼公民館の男女すべての和式トイレに手すりを追加設置した。</p>	<p>・全ての市立公民館で、施設及び備品・機器の改修や更新に合わせて、更なるバリアフリー化を検討する。 ・小規模な修繕でバリアフリー化が可能な場合は随時行っていく。</p>
<p>老人福祉センター事業 高齢介護課</p>	<p>・291日開館し、入館者は延べ8,209人（前年度比+2,191人）であった。 ・せつつ桜苑及びふれあいの里でいきいきカレッジとして、「スマートフォンをより詳しく学びたい」というニーズに対応した新たな専門科目を含め、計32コマの講義を実施した。受講者は以下のとおり。 ■せつつ桜苑：延べ513人（前年度比+94人） うち、新規受講者：208人（前年度比+118人） ■ふれあいの里：延べ370人（前年度比+62人） うち、新規受講者：112人（前年度比-38人） ・受講要領を2会場と市役所だけでなく、公民館やコミュニティプラザ等の公共施設にも配架した。</p>	<p>・いきいきカレッジについて、地域活動の実践者の育成という趣旨を鑑み、初めてスマホを持った方でも、LINEやZOOMを用いたコミュニケーションを取れるようにサポートできる人材を養成する「スマホサポーター養成講座」を実施する。 ・いきいきカレッジについて、70歳代の受講者が多いため、受講前に体験できるオープンカレッジを実施し、60歳代の高齢者の受講にもつなげる。</p>
<p>老人クラブ活動事業 高齢介護課</p>	<p>・令和4年度は3年振りに総会を開催し、グラウンドゴルフ大会、スカイクロス大会等の屋外でのスポーツ大会等を中心に感染症対策を講じながら、徐々に活動を再開した。 ・事務局として地域市民活動に従事している老人クラブ連合会役員との密な連携のもと、下記のとおり、団体運営の補助を行った。 ■役員会における協議や、屋外でのスポーツ大会など、感染症対策を講じながら工夫して屋内での健康増進事業を再開した。 ■春と秋にグラウンドゴルフ大会を開催し、春は101人（前年度比-7人）、秋は94人（前年度比+15人）が参加した。 ■部会活動以外の市老人クラブ連合会の、書類作成と書類管理、連絡調整を担った。 ・会員数2,137人（前年度比-88人）、50クラブ（前年度比-1クラブ）と減少傾向にあり、今後の運営等が懸念される。 ■市広報（12月号）にて、市老人クラブ連合会の周知を図った。</p>	<p>・引き続き、新型コロナウイルス感染症に留意しながら、老人クラブ活動が行えるよう、事務局としてサポートするとともに、必要に応じた情報提供を行う。 ・新規会員を確保するため、広報紙への活動記事の掲載等、効果的な情報発信が行う。</p>
<p>障害者福祉関係団体補助事業 障害福祉課</p>	<p>・障害者団体に対し、文化交流や健康増進などの各種活動に補助金等を支援した。</p>	<p>・引き続き、各種活動等の企画や周知により、障害のある方が参加しやすい環境をつくり、障害者の社会参加を促進する必要がある。</p>
<p>国際交流事業 自治振興課</p>	<p>・摂津市国際交流協会において国際交流協会活動報告紙を発行した。 ■SAIEレポート（年間報告）：発行部数1,100枚 ■かわら版：発行部数3,600枚・発行回数4回／年</p>	<p>・摂津市国際交流協会の発行する情報誌に加え、広報紙に活動を掲載する等、様々な情報発信手段で広く市民に活動を周知していく必要がある。 ・令和5年度、摂津市国際交流協会が創立30周年を迎えることから、周年事業の取組として記念誌の発行や様々なイベントをとらして活動内容を周知する必要がある。</p>

中項目	3 情報の収集・発信と共有化	分野計画参照ページ	P24
関連する主な事業	令和4年度の取組実績	分析・考察	
文化振興事業 文化スポーツ課	<ul style="list-style-type: none"> ・大阪人間科学大学と連携し、学生によるイベントガイドのデザイン・構成を行った。 ・広報紙・ホームページ・LINE・各公共施設でのチラシ配布等により、各種イベント情報を発信した。 ・秋川雅史コンサートや摂津いきいき塾囲碁入門講座等の参加者に、イベント情報の入手方法に係るアンケート調査を実施し、1,799件の回答があった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・カラフルな色彩やかわいいイラスト、表紙のセッピイのデジタルアート動画の視聴ができるQRコードの掲載など、大学生の若い感性でイベントガイドを手掛けたことで、手に取ってもらいやすく、興味を惹くイベントガイドを作成することができた。 ・アンケート調査では、全体的には、広報紙に次いでポスター・チラシ等から情報を入手する方が多い傾向であるが、事業によりWebや口コミが多いものがあった。全小中学校へのチラシの配布等、内容や対象者によりアウトリーチを検討していく必要がある。 	
公民館運営事業 生涯学習課	<ul style="list-style-type: none"> ・イベントの開催前にホームページや広報紙等への掲載、チラシ配布やポスターの掲示等を行い、市民に周知を図ることで参加促進を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後、イベント開催時の様子をホームページに掲載する等新たな情報を発信することで、参加促進を図っていく。 	
市民活動支援事業 自治振興課	<ul style="list-style-type: none"> ・広報紙や各施設のホームページで市民活動団体のイベント情報や会員募集について掲載した。 ・コミュニティプラザ、コミュニティセンター、市民ルームで、市民公益活動団体の活動内容や活動日時、代表者の連絡先等の情報を掲示した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民公益活動を行っている団体、事業者などの団体情報をデータベース化し、情報発信を行う必要がある。 	

中項目	4 地域資源（文化財・伝統文化・自然環境）を活かしたまちづくりの展開	分野計画参照ページ	P24
関連する主な事業	令和4年度の取組実績	分析・考察	
摂津市史編さん事業 生涯学習課	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史資料の収集・整理・保存を実施し、累計42,000点の保存を終えた。 ・『新修摂津市史 近世 近代編』第2巻を刊行した。 ・令和6年度刊行に向け、『新修摂津市史 現代 民俗編』第3巻の執筆作業を進めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民に活用されるよう、これまで保存した史料の公開に向け準備を進める必要がある。 ・市の各種計画や起案された文書のうち、歴史史料として保存すべき文書を選別・収集し、保存する仕組みを作り上げる必要がある。 	
文化財保護事業 生涯学習課	<ul style="list-style-type: none"> ・開発に先立つ立会調査を9件実施した。（前年度比+3件）また、遺物・遺構の発見はなかった。 ・摂津市の歴史を後世に伝えるため「ふるさと摂津講座」を開催し、55人が参加した（前年度比+6人）。 ・文化財説明看板の修繕を2件実施した。 ・明和池遺跡から出土した遺物を図書館に常設展示するとともに、市役所及び公民館で展示を行った。 ・教育委員会のYouTubeチャンネルに、明和池遺跡から出土した須恵器の作り方に関する子ども向けの動画を作成・配信した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市内文化財保護のため、味舌天満宮（府指定文化財）修繕にかかる補助金を交付する必要がある。 ・千里丘駅西地区再開発に伴う埋蔵文化財発掘調査を実施する必要がある。 ・文化財関連資料の収集・整理・保存を進めるとともに、活用を図り、郷土摂津に対する市民の学びを高めため、引き続き「ふるさと摂津講座」を開催する。 	
生涯学習フェスティバル開催事業 生涯学習課	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響により、「生涯学習市民のつどい」を中止した。 ・「生涯学習フェスティバルろうそくファンタジー」は、台風接近に伴う天候不良を考慮し中止した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・参加団体の日頃の活動成果の発表の機会として、生涯学習フェスティバルを開催する。 	

中項目	5 文化交流活動の活性化・多文化共生の推進		分野計画参照ページ	P25
関連する主な事業	令和4年度の取組実績		分析・考察	
市民活動支援事業 自治振興課	<ul style="list-style-type: none"> 市民公益活動支援団体交流会として、「会うてしゃべってぶっちゃけトーク会」を5回(前年度比+2回)開催し、延べ116人(前年度比+36人)が参加した。初めての取組として、うち各1回(計2回)を、大阪府と摂津市商工会とそれぞれ協働で実施した。 市民活動支援講座として、「ZOOMを使いこなそう連続講座」を開催し、15人が受講した。また、「初めてのSNS講座」を開催し、7人が受講した。 地域課題解決等に取り組む6団体(前年度比+1団体)に市民公益活動補助金を交付した。 市内のNPO法人数は19団体(前年度比±0団体)であった。 		<ul style="list-style-type: none"> 市民公益活動支援団体交流会において、団体同士の情報共有や意見交換、さらにそれぞれが抱える悩みを相談し合える貴重な場で、活動団体の育成や支援につながっているため、活動団体のニーズや開催のあり方等を踏まえて継続実施していく。参加者全員が意見を話すことができるよう、実施方法を検討する必要がある。 市民活動支援講座は、活動団体の構成員の能力向上や交流を育み、活動団体の支援や活性化につながっているため、今後も引き続き実施していく。 市民公益活動の補助金は3年を限度としているが、摂津市商工会と連携し、民間企業の補助金の案内や申請支援など、市民公益活動団体への支援を継続していく必要がある。 	
文化振興事業 文化スポーツ課	<ul style="list-style-type: none"> 兵庫県、大阪府の摂津圏の地域の自治体で構成する摂津圏文化行政連絡協議会で、指定管理者制度における自主事業に関することや美術品寄贈の受け入れ基準、文化政策の計画策定状況等について情報交換を行った。 		<ul style="list-style-type: none"> 各市町の担当者と気軽に情報交換できる関係を築き、様々な取組を共有することで、今後の事業展開の参考としていく。 	
国際交流事業 自治振興課	<ul style="list-style-type: none"> 友好都市であるバンダバーグと電子メールで連絡を交わした。 バンダバーグと摂津市の園児が折り紙等の作品交換を行った。 姉妹都市である蚌埠市とオンラインにて交流を行った。 摂津市国際交流協会の各種講座を支援し、参加者数は以下のとおりであった。 <ul style="list-style-type: none"> ■国際理解講座延べ205人(前年度比+175人) ■青少年英語講座延べ9人(前年度比-7人) 前期で終了し子ども英語講座へ移行 ■子ども英語講座延べ23人(新規開講) 青少年英語講座からリニューアル ■大人の英会話講座延べ56人(前年度比+9人) ■中国語講座延べ20人(前年度比+6人) ■親子DE英語講座14組(新規開講) 青少年英語講座からリニューアル 日本語教室を市内5会場で計442回(前年度比+94回)実施し、延べ507人(前年度比-383人)が参加した。開催回数、参加者数にはweb開催を含む。 「外国人市民へのわかりやすい情報提供ガイドライン」に基づき、市民団体及び市職員を対象に「やさしい日本語」の活用に向けた協働研修を実施した。(参加人数 市民団体 16人 市職員 31人) 		<ul style="list-style-type: none"> 園児同士の交流は好評であったことから、引き続き、幼少期から異なる文化や言語に触れる機会を提供していく必要がある。 蚌埠市と令和6年度に姉妹都市締結40周年を迎えるにあたり、蚌埠市から相互訪問の提案を受けているが、国際情勢を鑑み、対応を慎重に検討する必要がある。 国際理解講座の参加者数が増加した要因は、講座の開催回数を7回(前年度比+4回)としたことが考えられる。 青少年英語は、小学校から英語の授業が実施されていることを考慮し対象年齢を拡大した。 日本語教室の参加者数が減少した要因は、対面による開催を重視し、オンラインでの開催回数を減少させたこと。また、企業が技能実習生に対して、業務以外で人との接触を控えるよう求めたことなどが考えられる。今後の開催方法は、対面とオンラインの両方から参加者が選択できるよう検討する必要がある。 「外国人市民へのわかりやすい情報提供ガイドライン」に基づき、「やさしい日本語」によるパンフレットの作成や、庁内案内サインの変更等の取組を進めていく必要がある。 	
公民館講座開催事業 生涯学習課	<ul style="list-style-type: none"> 安威川公民館で「ドイツ菓子シュトーレン作り講座」を開催し、10人が参加した。 千里丘公民館で次のとおり取組を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ■「アメリカン スイーツ作り講座」：12人参加 ■「イギリス菓子 スコーン作り講座」：6人参加 味生公民館で「韓国料理講座」を開催し、14人が参加した。 鳥飼東公民館で「アメリカン スイーツ作り講座」を開催し、8人が参加した。 		<ul style="list-style-type: none"> 「イギリス菓子 スコーン作り講座」を除く講座において、いずれも募集定員に達しており、ニーズがあると考えられる。 引き続き、国際的な文化をテーマにした講座等を実施する。 	

分野	教育	施策	文化・スポーツ	
分野計画名称	文化振興計画		行政経営戦略 参照ページ	P91

施策の展開（大項目）	2 次代の文化を担う人材育成の活動の支援					
KPI (指標)	「直近1年間で文化・スポーツ活動をした」と回答した児童生徒の割合					
	推移の方向性	基準値	令和2年度 結果	令和3年度 結果	令和4年度 結果	目標値 (令和7年度)
	増加	84.0%(令和2年度)	84.0%	91.0%	92.9%	90.0%
KPI (指標)	歴史・文化財に係る講座参加者数（延べ人数）【★】					
	推移の方向性	基準値	令和2年度 結果	令和3年度 結果	令和4年度 結果	目標値 (令和7年度)
	増加	113人	88人	49人	55人	200人

中項目	1 青少年や次世代アーティストを呼び込む文化芸術環境の更なる拡充	分野計画参照ページ	P26
関連する主な事業	令和4年度 の取組実績	分析・考察	
こども展覧会開催事業 文化スポーツ課	・10月20日～23日の間に、コミュニティプラザでこども展覧会を開催し、1,090点（前年度比-70点）の出展があった。	・出展数の減少は、教職員が日常業務に加えて作品の搬入出などを行うことが困難であり、小学校単位での取りまとめが減少したことが主な要因であると考えられる。今後は申込み等はメールで完結し、搬入出については出展者各自で可能であることを案内し、引き続き出展いただけるように働きかける。 ・個人出展の増加を図るため、紙媒体だけではなくロゴフォームから申込みできるように検討する。	
音楽祭開催事業 文化スポーツ課	・市民文化ホールで摂津音楽祭（リトルカメラリアコンクール）を開催し、予選に参加した64組のうち、21組が本選に参加した。来場者は延べ373人であった。また、本選の審査待ち時間にチャレンジコンサートを実施し、11人が参加した。 ・リトルカメラリアミニコンサートを小学校9校・1園（前年度比+3校・+1園）で実施し、延べ25人（前年度比+11人）が出演した。来場者数は延べ1,604人（前年度比+801人）であった。 ・安威川公民館でフレッシュコンサートを実施し、8人が出演した。来場者数は150人であった。	・リトルカメラリアミニコンサートを実施した小学校でのアンケートでは、「クラシックの曲に加え、アニメに主題歌など、子どもたちにもなじみのある曲を演奏してもらったり、実際に楽器に触れさせてもらえたり、興味をもって聴けるよう工夫されていてよかった。」等の回答があった。毎回好評であり、子どもたちが気軽に生の演奏に触れられる機会として引き続き実施していく。 ・摂津音楽祭において、市内の小学生は入場無料であることや中学生から聴衆審査員になれることなどの周知を図り、来場者数を増やす取組が必要。	
図書館運営事業 生涯学習課	・市民図書館、鳥飼図書センターで児童図書を合わせて2,195冊購入した。 ・児童図書の貸出件数は79,157冊（前年度比+8,859冊）であった。 ・市民図書館、鳥飼図書センターにYA（ヤングアダルト）コーナーを設置し、資料の整備や展示を行った。	・引き続き、書架のスペースを考慮しながら、選書基準に基づき青少年対象の蔵書を購入する。 ・電子図書やSNSを活用し、デジタルネイティブ世代の読書活動を推進する。	

文化ホール管理事業 文化スポーツ課	<ul style="list-style-type: none"> ・3月に文化ホールで、オペラ「魔笛」を実施し、劇中に出演する、青少年少女合唱団のメンバーを募集した。来場者数は401人であった。 ・8月に文化ホールで、小学生を対象に、照明や音響機器の操作を体験する文化ホールバックヤードツアーを実施。21人（前年度比+2人）が参加した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・オペラ「魔笛」において、青少年少女合唱団のメンバー募集のチラシを学校に配布したことで、参加につながった。 ・引き続き、子どもが文化活動に触れられる機会を提供する。
小学校用副読本作成事業 学校教育課	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度に改訂した社会科副読本「わたしたちの摂津」を活用し、市内の全小学3、4年生が摂津市の歴史や文化を学んだ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、4年に1回の改訂ごとに情報を更新し、地域学習の推進に努める。

中項目	2 文化を支える人材の育成と団体支援・ノウハウ継承		分野計画参照ページ	P27
関連する主な事業	令和4年度 の取組実績	分析・考察		
文化財保護事業 生涯学習課	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと摂津案内人養成講座は、応募者がいなかったため実施せず、代わりに、ふるさと摂津案内人による勉強会を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・郷土の歴史を後世に伝える活動を行っている歴史ボランティアグループ「ふるさと摂津案内人」の活動を支援するため、他市の歴史ボランティアグループの活動を調査・研究する必要がある。 		
せつつ生涯学習大学事業 生涯学習課	<ul style="list-style-type: none"> ・せつつ生涯学習大学を全12回開催し、11人（前年度比+6人）が受講するとともに、単発受講で計14人（前年度比-3人）が受講した。 ・せつつ生涯学習大学院（前年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止）を全3回開催し、4人が受講した。 ・せつつ生涯学習大学の企画・運営や各イベントへの参画等の活動を行う生涯学習リーダーは、養成者3人（前年度比+3人）であった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・受講者数がコロナ禍以前に戻りつつあり、引き続き、生涯学習リーダーやコーディネーターの養成、学習の機会の提供に向け、生涯学習大学を開催する。 		
文化関係団体育成事業 文化スポーツ課	<ul style="list-style-type: none"> ・各団体主催のイベントを実施を支援し、参加者数は以下の通りであった。 ■4月に文化ホールでアンサンブルフェスティバルを実施し、14組が出演した。来場者数は300人であった。 ■6月にコミュニティプラザで文化連盟祭を実施し、198人が出場・出展した。来場者数は720人であった。 ■3月に文化ホールで市民合唱祭を実施し、16組が出演した。来場者数は130人であった。 ※美術協会展及びわがままコンサートは中止。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文化連盟祭で文化連盟加盟団体募集のチラシを置き、新しい団体の加入を呼びかけた。引き続き、役員の高齢化や後継者不足等への対策を検討し、実施していく必要がある。 		
市民活動支援事業 自治振興課	<ul style="list-style-type: none"> ・市民公益活動支援団体交流会として、「会うてしゃべってぶっちゃけトーク会」を5回（前年度比+2回）開催し、延べ116人（前年度比+36人）が参加した。初めての取組として、うち各1回（計2回）を、大阪府と摂津市商工会とそれぞれ協働で実施した。 ・市民活動支援講座として、「ZOOMを使いこなそう連続講座」を開催し、15人が受講した。また、「初めてのSNS講座」を開催し、7人が受講した。 ・地域課題解決等に取り組む6団体（前年度比+1団体）に市民公益活動補助金を交付した。 ・市内のNPO法人数は19団体（前年度比増減なし）であった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民公益活動支援団体交流会において、団体同士の情報共有や意見交換、さらにそれぞれが抱える悩みを相談し合える貴重な場で、活動団体の育成や支援につながっているため、活動団体のニーズや開催のあり方等を踏まえて継続実施していく。参加者全員が意見を話すことができるよう、実施方法を検討する必要がある。 ・市民活動支援講座は、活動団体の構成員の能力向上や交流を育み、活動団体の支援や活性化につながっているため、今後も引き続き実施していく。 ・市民公益活動の補助金は3年を限度としているが、摂津市商工会と連携し、民間企業の補助金の案内や申請支援など、市民公益活動団体への支援を継続していく必要がある。 		

全国大会等参加補助事業 文化スポーツ課	・ダンス、ソフトボール、少林寺、ゴルフ、ホッケー、アルティメット、グラウンドゴルフ、ピアノ、野球の大会において、激励金を11件（前年度比+4件）交付した。	・コロナ禍で中止となっていた大会等が再開されたこともあり、申請実績は伸長している。 ・本事業の認知度も高まっており、ホームページでの掲載効果もあると推測できる。
------------------------	---	---

中項目	3 企業連携・大学連携による文化振興に関する環境整備・人材育成		分野計画参照ページ	P28
関連する主な事業	令和4年度 の取組実績		分析・考察	
文化関係団体育成事業 文化スポーツ課	・7月に音楽連盟とルッツ南摂津からなる実行委員会により、ルッツ南摂津（ショッピングモール）でフロアコンサートを3年ぶりに実施し、チラシを見て集まって来た方や買い物客が鑑賞した。（出演団体数：7団体）		・音楽連盟が主体となり、民間施設を利用した発表会を実施できた。このように団体等が主体的に文化を推進することを今後も支援していくことが重要である。	
文化振興事業 文化スポーツ課	・大阪人間科学大学と連携し、学生によるイベントガイドのデザイン・構成を行った。		・カラフルな色彩やかわいいイラスト、表紙のセッピーのデジタルアート動画の視聴ができるQRコードの掲載など、大学生の若い感性でイベントガイドを手掛けたことで、手に取ってもらいやすく、興味を惹くイベントガイドを作成することができた。今後も大学等と連携していくことで、文化を広げていくことが必要。	

分野	教育	施策	文化・スポーツ	
分野計画名称	文化振興計画		行政経営戦略 参照ページ	P91

施策の展開（大項目）	3 市民参画による文化振興に向けた環境整備					
KPI (指標)	「直近1年間で文化・芸術の鑑賞や活動をした」と回答した市民の割合					
	推移の方向性	基準値	令和2年度 結果	令和3年度 結果	令和4年度 結果	目標値 (令和7年度)
	増加	22.7%(令和2年度)	22.7%	34.7%	27.5%	25.0%
KPI (指標)	市・指定管理者主催の文化イベントの延べ参加者数					
	推移の方向性	基準値	令和2年度 結果	令和3年度 結果	令和4年度 結果	目標値 (令和7年度)
	増加	19,081人	3,891人	5,700人	13,052人	22,000人

中項目	1 文化施設を核とする文化振興の取組		分野計画参照ページ	P29
関連する主な事業	令和4年度 の取組実績		分析・考察	
文化ホール管理事業 文化スポーツ課	<ul style="list-style-type: none"> ・ちびっこ劇団「ひなどり」の発表会を中止したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じ、次の事業を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ■アーティスト等コンサート・ライブ・オペラ 4本 観覧者：1,425人（前年度比+285人） ■リトルカメラリア推薦コンサート 観覧者：255人（前年度中止） ■朗読劇 2本（観覧者：604人） ■落語会 観覧者：延べ651人（前年度比+320人） ■日本舞踊の体験 参加者：延べ47人（前年度比±0人） ■囲碁、将棋教室 参加者：延べ181人（前年度比-34人） ■囲碁、将棋大会 参加者：延べ121人（前年度中止） ■癒し絵教室 参加者：延べ67人（前年度比-35人） ■市民カラオケ大会 参加者：39人（前年度中止） ■老人同好会文化祭 参加者：493人（前年度中止） ■文化ホールバックヤードツアー参加者：21人（前年度比+2人） ・「摂津市民文化ホール新型コロナウイルス感染症防止対策ガイドライン」に基づき、施設を運営した。 ※暴風警報による臨時休館：9月19日（昼夜間） 		<ul style="list-style-type: none"> ・ウィズコロナへの適応が進んだことや、活動を休止していた団体等が活動を再開したことで、文化ホール貸館の利用者は52,848人（前年度比+20,883人）となった。前年度中止であったものが令和4年度は実施できたものも多く、引き続き、安全に配慮した施設の運営と、市民のニーズに沿った魅力的なイベントの開催に取り組むことで、多くの市民が文化に触れられる機会を提供する。 ・引き続き利用しやすい施設整備及び運用を図るとともに利用者アンケートの結果等を踏まえ、文化活動の拠点としての在り方について検討する必要がある。具体的には、利用を促進するために、施設使用の例となるような施設管理者による事業の展開などを検討。 	
コミュニティプラザ管理事業 自治振興課	<ul style="list-style-type: none"> ・市民公益活動に関するチラシを法人種別や主催者ごとに区分けするなど、できるだけ手に取ってもらいやすいように工夫を行いながら配架した。 ・指定管理者が主体となり、市民や文化関係団体と「2022南千里丘クリスマスバル」「ロビーコンサート」等のイベントを開催した。（感染症対策のため規模を縮小） 		<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの影響により、3年以上活動が実施できず、ノウハウの継承がなされていない団体もあるため、引き続き、協働のきっかけづくりとして、イベント等を開催していく必要がある。 	

コミュニティセンター管理事業 自治振興課	<ul style="list-style-type: none"> ・市民公益活動に関するチラシを法人種別や主催者ごとに区分けするなど、できるだけ手に取ってもらいやすいように工夫を行いながら配架した。 ・「のびのびストレッチ～体のバランス～」等の講座や、音楽、落語会、人形劇等のイベントを計36回（前年度比+15回）開催し、計3,043人（前年度比+2,347人）が参加した。 ・別府コミュニティセンターまつりを3年ぶりに開催した。（感染症対策のため規模を縮小） 	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの影響により、3年以上活動が実施できず、ノウハウの継承がなされていない団体もあるため、引き続き、協働のきっかけづくりとして、イベント等を開催していく必要がある。 ・より多くの利用者に来館いただけるよう、新たな魅力ある講座を実施する必要がある。
正雀市民ルーム管理事業 自治振興課	<ul style="list-style-type: none"> ・市民公益活動に関するチラシを配架した。配架にあたっては、法人種別や主催者ごとに区分けするなど、できるだけ手に取ってもらいやすいように工夫を行った。 ・3年ぶりに開催された、「ましたの楽市」や「たそがれコンサート」に参画した。たそがれコンサートにおいては、正雀市民ルームがミニコンサート会場になるなど、職員が運営に携わった。 ・「ハッピーヨガ教室」等、9講座（前年度比+3講座）を開催し、延べ1,148人（前年度比+411人）が参加した。 ・旧市民サービスコーナーのスペースに、高齢者が手作りした雑貨や子どもが描いた絵を窓際に飾ることで、集客のきっかけづくりを行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの影響により、3年以上活動が実施できず、ノウハウの継承がなされていない団体もあるため、引き続き、協働のきっかけづくりとして、魅力的な講座等を開催していく必要がある。 ・たそがれコンサート等の地域イベントへの参画を継続することで、施設の存在をアピールする必要がある。
公民館講座開催事業 生涯学習課	<ul style="list-style-type: none"> ・鳥飼東公民館で「はじめてでも楽しめる狂言」講座を開催し、13名が参加した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・募集定員30名に対し、13名の参加数であったことから講座内容の変更や新たな講座を検討する必要がある。 ・引き続き、市民の声を反映しながら、ニーズに合致した文化・芸術をテーマにした講座等を実施する。
公民館管理事業 生涯学習課	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍による制限の中でも可能な限りの活動ができるよう、定員の縮小、机やイス等の付帯備品の配置見直し、消毒作業等を行い、安全安心な施設運営に努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の集団感染や事故等もなく、安全安心な施設運営ができていたと考えられる。 ・引き続き、安全安心な公民館施設の環境づくりを進める。

中項目	2 市民参画による協働の推進		分野計画参照ページ	P29
関連する主な事業	令和4年度 の取組実績	分析・考察		
文化振興事業 文化スポーツ課	<ul style="list-style-type: none"> ・第3期文化振興計画策定のため、文化振興計画推進審議会を5回実施した。（委員は、市内の活動団体・事業所代表等：12名、一般公募：3名の計15名） ・セルリアン絵画展、三島地区スポーツ少年団軟式野球親善交流大会等の文化・スポーツ活動28件（前年度比+7件）を後援した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、市民、市内の活動団体・事業者に文化振興計画推進審議会へ参画いただくとともに、後援名義の使用を承認する等、相互協力の上、文化振興を図っていく必要がある。 		
市民活動支援事業 自治振興課	<ul style="list-style-type: none"> ・市民公益活動支援団体交流会として、「会うてしゃべってぶっちゃけトーク会」を5回（前年度比+2回）開催し、延べ116人（前年度比+36人）が参加した。初めての取組として、うち各1回（計2回）を、大阪府と摂津市商工会とそれぞれ協働で実施した。 ・市民活動支援講座として、「ZOOMを使いこなそう連続講座」を開催し、15人が受講した。また、「初めてのSNS講座」を開催し、7人が受講した。 ・地域課題解決等に取り組む6団体（前年度比+1団体）に市民公益活動補助金を交付した。 ・市内のNPO法人数は19団体（前年度比±0団体）であった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民公益活動支援団体交流会において、団体同士の情報共有や意見交換、さらにそれぞれが抱える悩みを相談し合える貴重な場で、活動団体の育成や支援につながっているため、活動団体のニーズや開催のあり方等を踏まえて継続実施していく。参加者全員が意見を話すことができるよう、実施方法を検討する必要がある。 ・市民活動支援講座は、活動団体の構成員の能力向上や交流を育み、活動団体の支援や活性化につながっているため、今後も引き続き実施していく。 ・市民公益活動の補助金は3年を限度としているが、摂津市商工会と連携し、民間企業の補助金の案内や申請支援など、市民公益活動団体への支援を継続していく必要がある。 		

公民館講座開催事業 生涯学習課	<ul style="list-style-type: none"> ・安威川公民館でボーイスカウト摂津第3団の子ども達がおばけやしきを企画・運営する「夏の納涼おばけやしき」を協働で開催し、84人(前年度比-36人)が参加した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども達の主体性を養うとともに、登録クラブの地域還元にもつながった。 ・参加者も親子での来館が多く、普段公民館を利用することの少ない年齢層に公民館の活動を周知できる機会となったため、引き続き、団体と協働で実施する。
---------------------------	---	---

中項目	3 庁内推進体制の更なる充実		分野計画参照ページ	P30
関連する主な事業	令和4年度 の取組実績	分析・考察		
文化振興事業 文化スポーツ課	<ul style="list-style-type: none"> ・庁内文化振興推進委員会により、第3期文化振興計画策定のための会議を5回(書面会議1回を含む)実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・計画に位置付けた施策の推進を図るため、より一層、庁内関係各課との連携・情報の共有が必要である。 		

分野	教育	施策	文化・スポーツ		
分野計画名称	文化振興計画			行政経営戦略 参照ページ	P91

施策の展開（大項目）	4 スポーツ・健康づくりの推進					
KPI (指標)	「週1回以上運動・スポーツをしている」と回答した市民の割合					
	推移の方向性	基準値	令和2年度 結果	令和3年度 結果	令和4年度 結果	目標値 (令和7年度)
	増加	39.8%(令和2年度)	39.8%	37.6%	30.9%	50.0%
KPI (指標)	市・指定管理者主催のスポーツイベントの延べ参加者数					
	推移の方向性	基準値	令和2年度 結果	令和3年度 結果	令和4年度 結果	目標値 (令和7年度)
	増加	72,300人	39,467人	51,248人	56,147人	78,000人
KPI (指標)	「直近1年間で文化・スポーツ活動をした」と回答した児童生徒の割合					
	推移の方向性	基準値	令和2年度 結果	令和3年度 結果	令和4年度 結果	目標値 (令和7年度)
	増加	84.0%(令和2年度)	84.0%	91.0%	92.9%	90.0%

中項目	1 スポーツ活動の推進と人材の育成		分野計画参照ページ	-
関連する主な事業	令和4年度の取組実績		分析・考察	
スポーツ推進委員活動事業 文化スポーツ課	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、ニュースポーツ体験会及び大会などの全事業を実施した。 摂津ふれあいマラソン等の協力事業についてもスポーツ推進委員が多数参加し、受付業務や走者の誘導を正確に行い、事業の成功に寄与した。 		<ul style="list-style-type: none"> 事業参加者は70歳以上の高齢者が大半を占めており、若年層の参加者向上を図る必要がある。 今後は委員向けの研修会を実施し、委員の知識・指導力向上を図る必要がある。 	
スポーツ振興事業 文化スポーツ課	<ul style="list-style-type: none"> スポーツ少年団の活動支援として、大会会場を確保するとともに、広報紙に団員募集記事を掲載し、広報板に団員募集のポスターを掲示した。 スポーツ少年団の団員数は190人（前年度比+4人）となった。 		<ul style="list-style-type: none"> 団員数の増加は、前年度から引き続きスポーツ教室イベントでスポーツに触れるきっかけづくりを行ったこと、ウィズコロナへの適応が更に進み、各団の活動が活発化してきたこと等が要因と考えられる。 更なる団体活動の充実に向け、小中学校への案内チラシの配布等の、広報紙や広報板以外での団員募集を検討する必要がある。 	
スポーツ教室振興事業 文化スポーツ課	<ul style="list-style-type: none"> スポーツ教室運営委員会主催でスポーツ教室を342回(前年度比+126回)実施し、延べ6,332人(前年度比+1657人)が参加した。 		<ul style="list-style-type: none"> 小中学生の参加者が少ないことから、募集チラシの小中学校への配布などを検討する必要がある。 	

体育施設管理事業 文化スポーツ課	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者アンケートを全体体育館で実施し、98人（前年度比+72人）から回答いただいた。 ・味舌体育館のオープンを機に、新たにSSK教室として19の教室を実施し、他施設での教室を含む、全21教室、延べ11,026人が参加した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設利用に関するアンケートは、71%の方から「満足」「大変満足」との回答をいただき、要因はスタッフの接客対応等が良かったことが考えられる。 ・味舌体育館以外の施設でも、魅力のあるイベントを開催し引き続き市民がスポーツに触れる機会を提供する。
温水プール管理事業 文化スポーツ課	<ul style="list-style-type: none"> ・四半期ごとに水泳教室を実施し、年間延べ46,684人（前年度比+7,564人）が参加した。 ・一般利用者は29,068人（前年度比+5,428）であった。 ・利用者アンケートを実施し、54人（前年度比+14人）から回答いただいた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一般利用者数及び水泳教室と、共に昨年より大きく増加しているが、コロナ禍以前の利用者数には戻っていないため、今後さらなる魅力的なイベント等の実施を検討する。
こども会育成事業 生涯学習課	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年9月24日に「摂津市こども会親善スポーツ大会」を実施し、ソフトボールの部6チーム及びキックベースボールの部3チームが参加した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ大会に加え、コロナ禍により自粛していた、地域やこども会などで活動するリーダーを養成する「冒険プログラム」の実施を支援していく。

中項目	2 スポーツによる健康増進		分野計画参照ページ	－
関連する主な事業	令和4年度の取組実績	分析・考察		
健康せつつ21推進事業 保健福祉課	<ul style="list-style-type: none"> ・健康づくりグループと「摂津みんなで体操四部作」などの普及啓発として、地域の高齢者が集うリハサロンに体操の実演を行った。 ・ホームページに体操の動画を公開するとともに、DVD・CDを保健福祉課窓口で60枚無料配布した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍における外出等活動の自粛が要因で、高齢者の体力・運動機能の低下がうかがえる。 ・高齢者が集う地域ごとで実施するリハサロンを活用し、引き続き、「摂津みんなで体操四部作」などの普及啓発を行うとともに、運動不足解消そして、フレイル予防に取り組む必要がある。 		
まちごとフィットネスヘルシータウン事業 保健福祉課	<ul style="list-style-type: none"> ・うきうきせつつウォーキングを7回（前年度比+4回）開催し、288人（前年度比+122人）が参加した。 ・歩くことでポイントを獲得し、参加賞や抽選での商品があたる健幸マイレージを実施し、新規参加（登録）者が488人（前年度比+35人）で、事業開始から合計2,959人の参加（登録）者となった。 ・6か月以上のデータ未送信者（登録者のうち健幸マイレージを活用していない者等）を抽出し、継続意向の案内はがきを送付した。継続意向の返信がなかった者（約800名）は規約に則り、退会手続きを年度末に実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナと共存しながら、感染症対策を講じたうえでの実施の向け、取り組むことで開催回数を増加。 ・引き続き、健康づくりを推進するためウォーキングイベントの実施に取り組むとともに、10か所のウォーキングコース及び108基の健康器具の利用促進に取り組む必要がある。 ・健幸マイレージの新規参加（登録）者は前年度より増加しているが、若年世代の参加者が少ない状況。また、若年世代の参加者ではアプリ利用者が多いが、歩数データ送信率が低い状況。 ・アプリ利用の仕方などの周知強化に取り組む必要がある。 		
スポーツ推進委員活動事業 文化スポーツ課	<ul style="list-style-type: none"> ・ハイキングを2回（前年度比±0回）実施し、116人（前年度比+51人）が参加した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・健幸マイレージ対象事業となってから参加者が年々増加傾向にあり、効果が出ている。 ・初級コース（比較的傾斜の低い平坦なコース）での事業実施を検討し、初めてハイキングをする方が参加し易い環境を整備する。 		
スポーツ教室振興事業 文化スポーツ課	<ul style="list-style-type: none"> ・味生体育館で健康体操教室を実施し、延べ1,440人（前年度比+300人）が参加した。 ・味舌体育館で新たにモビバン体操教室を実施し、延べ358人（前年度比+58人）が参加した。（前年度は味生体育館で実施） ・味舌体育館でスポーツ庁新体力テスト実施要項に基づく体力測定を実施し、延べ46人（前年度比+6人）が参加した。※内60歳以下の参加者6人 	<ul style="list-style-type: none"> ・体力テストについて、60歳以下の参加者が少ないため、引き上げが必要である。事業は指定管理者に委託しているため、指定管理者で実施している各種教室参加者への告知などを検討する必要がある。 		

総合型クラブ支援事業 文化スポーツ課	・各種スポーツ教室の開催にあたり必要な会場について、優先的に先押さえを実施して教室運営を支援した。	・引き続き総合型地域スポーツクラブの教室事業、イベント事業、受託事業等について、会場確保、広報等様々な支援の可能性を検討していく。
体育施設維持管理事業 文化スポーツ課	・親子体操や、乳幼児や妊産婦を対象にしたベビーストレッチとおむつはずし講座など子育てに関わる週替わり企画の教室を28回実施し、164人が参加した。	・親子向け教室の中でも、参加率の高い親子体操を中心に、参加者のニーズに合う講座を検討し、参加人数の増加に努める必要がある。
市民ニュースポーツのつどい事業 文化スポーツ課	・スポーツ推進委員を中心に、ニュースポーツのつどいとしてポッチャ大会、スティックリング大会を実施し、計122人(前年度比+2人)が参加した。 ※ゲートゴルフ大会は雨天により中止 ・ポッチャ、スリータッチビーチボール、スティックリングなどの体験会を実施し、計98人(前年度比+35人)が参加した。	・令和4年度に初めて実施したポッチャ大会はこどもから高齢者まで幅広い方々に参加いただくことができた。 ・スポーツ推進委員の知識・指導スキル向上を図り、高齢者も参加しやすい環境作りを行う。

中項目	3 誰もが気軽に取り組めるスポーツ環境の整備		分野計画参照ページ	－
関連する主な事業	令和4年度の取組実績	分析・考察		
体育施設維持管理事業 文化スポーツ課	<ul style="list-style-type: none"> 各体育館へのエアコン取付工事を順次開始し、鳥飼体育館のエアコン設置が完了した。 くすの木公園テニスコートの人工芝の剥がれを修繕した。 	<ul style="list-style-type: none"> 味生体育館、正雀体育館のエアコン設置についても、令和5年度の工事完了に向けて工事の進行管理を行う必要がある。 テニスコートについては、照明灯を水銀灯からLEDに切り替えていく必要がある。 		
体育施設管理事業 文化スポーツ課	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者のスポーツ流通の特性を生かし、物品の販売を開始した。開放デーとして金曜日の昼の時間帯に23回実施し、341人が参加した。 	<ul style="list-style-type: none"> スポーツシューズやウェアなどの物品販売では、貸館利用者以外でも気軽に立ち寄り、体育館へ足を運んでもらえるきっかけとなることから、スポーツでの利用へつなぎたいと考えている。 個人利用については、就学・就業中の方も参加しやすいよう、休日や夜間の枠にするなど検討していく。 		
温水プール管理事業 文化スポーツ課	<ul style="list-style-type: none"> 温水プールの利用者は次のとおりであった。 ■高齢者：延べ5,072人(前年度比+1,303人) ■障害者：延べ0人(前年度比-26) ■子ども：延べ32,834人(前年度比+6,008人) ・学校の夏休み期間等に合わせて月曜日の休館日に無料開放を実施し、810人の利用があった。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き無料開放を行い、これまで利用されていない方などにも気軽にプールを利用してもらえるよう周知に努め、スポーツに親しむ機会を提供する。 		